

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習 I Practical Training in Nursery School I		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次 2年次	1年次後期(集中) 2年次前期(集中)
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	4	選択	中津 愛子・ 梅田 美穂・鄭 曉琳	
概要				
<p>保育所や社会福祉施設（居住型施設）で実習を行い、子どもや利用者への理解を深めるとともに、施設の役割と機能、保育士の職務内容を理解する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 保育所・施設の役割を理解することができる。  (2) 観察や関わりを通して子どもや利用者への理解を深めることができる。  (3) 指導計画・援助計画を理解することができる。  (4) 子ども・利用者に対する援助・支援について理解することができる。  (5) 実習日誌の書式に従い、日誌を書くことができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 実習施設について理解する。  2 保育所・施設の一日の流れを理解する。  3 子どもや施設利用児・者の実態に触れ、理解を深める。  4 指導計画、援助計画を理解する。  5 保育技術、援助技術を習得する。  6 保育士の役割と職業倫理、他の職員との連携について理解する。  7 自らの児童観、保育観を高め、現代の家族や社会への理解を深める。  8 安全対策、健康管理および疾病予防への配慮について学ぶ。</p> <p>※実習時期  1年次2月・3月に施設での実習を行う。  2年次7月に保育所での実習を行う。</p> <p>※実習先  施設・保育所、ともに学校が指定する。</p> <p>※その他  実習先で事前オリエンテーションを受ける必要がある。事前準備として、検便、健康診断、インフルエンザ予防接種、麻疹・風疹抗体検査などが必要である。</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	テキストとして配布：「保育（保育所・施設）実習の手引き」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な ど	保育士証：必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 保育所・施設の役割を理解することができる。	たいへんよく理解している。	よく理解している。	最低限の理解はしている。	理解していない。	実習先からの評価表	15%
(2) 観察や関わりを通して子どもや利用者への理解を深めることができる。	たいへんよく理解を深めている。	よく理解を深めている。	理解はしているが、深まっていない。	理解していない。	実習先からの評価表	15%
(3) 指導計画・援助計画を理解することができる。	たいへんよく理解している。	よく理解している。	最低限の理解はしている。	理解していない。	実習先からの評価表	15%
(4) 子ども・利用者に対する援助・支援について理解することができる。	たいへんよく理解している。	よく理解している。	最低限の理解はしている。	理解していない。	実習先からの評価表	15%
(5) 実習日誌の書式に従い、日誌を書くことができる。	用語の使用や表現の誤りがなく、詳しく丁寧に書いており、他の学生の模範となる。	用語の使用や表現の誤り、誤字、脱字がほぼなく、丁寧に書いている。	用語の使用や表現の誤り、誤字、脱字がいくつかみられるが、必要な箇所の記述はある。	用語の使用や不適切な表現があり、内容が読み取れない。	実習日誌	40%